

平成30年度(第1回)

鹿児島県道路メンテナンス会議

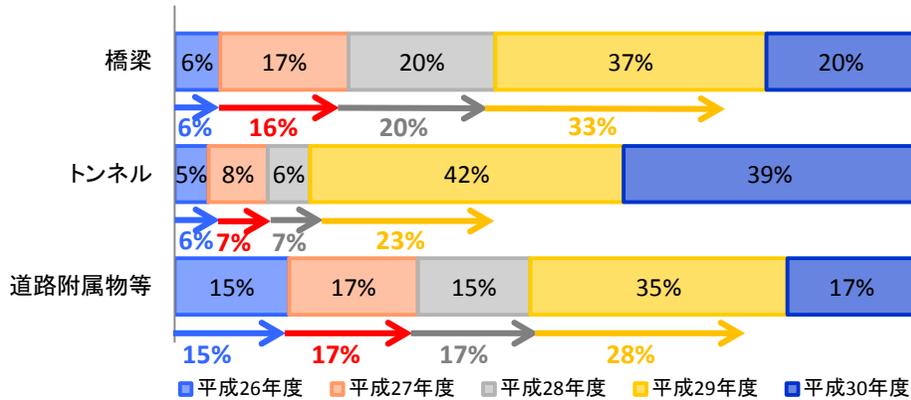
平成30年7月24日(火)

鹿児島県市町村自治会館

鹿児島県の点検実施状況(全体)

○平成26年7月の省令施行を踏まえ、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定。平成29年度末の点検実施率は、橋梁約75%、トンネル約43%、道路附属物等約77%。

<5年間の点検計画と平成26～29年度の実施状況>



道路施設	管理施設数	点検計画数 (H26~H29)	点検実施数 (H26~H29)	点検実施率 (H26~H29)
橋梁	10,770	8,576	8,065	75%
トンネル	175	106	75	43%
道路附属物等	317	262	244	77%

※ H30.3月末時点
点検実施率は、端数により左図と合わない場合がある

<橋梁の点検方針>

コンクリート片の落下等による第三者被害の予防並びに路線の重要性の観点から、以下については、最優先で点検を推進

- ・緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋
- ・跨線橋
- ・緊急輸送道路を構成する橋梁

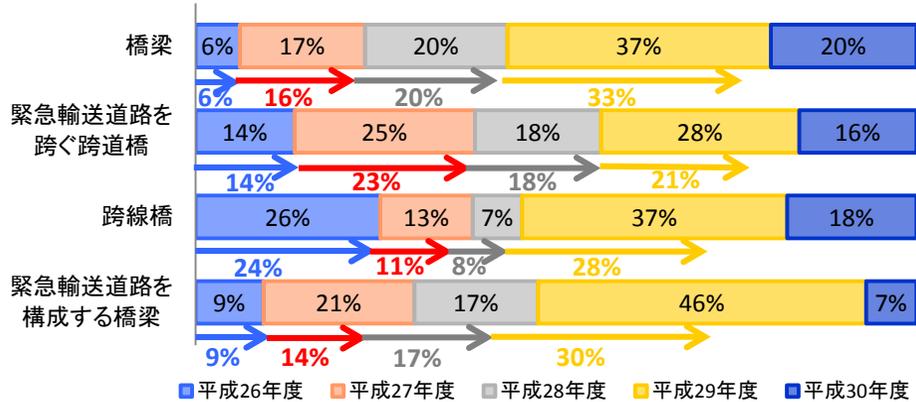
<橋梁点検状況(管理者別)>

管理者	管理施設数	点検計画数 (H26~H29)	点検実施数 (H26~H29)	点検実施率 (H26~H29)
国土交通省	553	481	464	84%
高速道路会社	205	182	182	89%
地方公共団体	10,012	7,913	7,419	74%
合計	10,770	8,576	8,065	75%

※ H30.3月末時点

- 最優先で点検すべき橋梁の点検実施率（平成29年度まで）は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋約76%、跨線橋約71%、緊急輸送道路を構成する橋梁約70%である。
- 跨線橋の点検には、鉄道事業者との協議や調整に時間を要するなどの課題が存在するが、ほぼ全ての鉄道事業者と今後の点検計画を確認しており、平成30年度までにすべての点検が完了する見込み。

＜最優先で点検すべき橋梁の点検計画と平成26～29年度の実施状況＞



	管理施設数	点検計画数 (H26～H29)	点検実施数 (H26～H29)	点検実施率 (H26～H29)
橋梁	10,770	8,576	8,065	75%
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	160	134	121	76%
跨線橋	117	96	83	71%
緊急輸送道路を構成する橋梁	1,745	1,618	1,230	70%

※ H30.3月末時点
 点検実施率は、端数により左図と合わない場合がある
 跨線橋は、歩道橋(跨線橋)を含む

○ 鹿児島県の橋梁の点検結果は、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は6橋（0.2%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は323橋（9.1%）、判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は1,555橋（43.6%）。

<平成29年度管理者別点検結果(橋梁)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国土交通省	553	170	126	37	7	0
高速道路会社	205	51	6	38	7	0
都道府県	2,432	763	393	309	61	0
道路公社	27	0	0	0	0	0
政令市	0	0	0	0	0	0
市区町村	7,553	2,581	1,156	1,171	248	6
合計	10,770	3,565	1,681	1,555	323	6

※ H30.3月末時点

鹿児島県の平成29年度点検結果(トンネル)

精査中

○ 鹿児島県のトンネルの点検結果は、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0本、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は17本（41.5%）、判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は21本（51.2%）。

<平成29年度管理者別点検結果(トンネル)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国土交通省	15	0	0	0	0	0
高速道路会社	11	2	0	0	2	0
都道府県	92	20	0	9	11	0
道路公社	6	3	0	3	0	0
政令市	0	0	0	0	0	0
市区町村	51	16	3	9	4	0
合計	175	41	3	21	17	0

※ H30.3月末時点

鹿児島県の平成29年度点検結果(道路附属物等)

精査中

○ 鹿児島県の道路附属物等の点検結果は、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0箇所、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は19箇所（21.6%）、判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は53箇所（60.2%）。

<平成29年度管理者別点検結果(道路附属物等)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国土交通省	108	13	6	5	2	0
高速道路会社	56	4	3	1	0	0
都道府県	108	66	7	44	15	0
道路公社	8	1	0	1	0	0
政令市	0	0	0	0	0	0
市区町村	37	4	0	2	2	0
合計	317	88	16	53	19	0

※ H30.3月末時点

＜各構造物の平成30年度の点検予定＞
全道路管理者の合計

道路施設	管理施設数	H26点検実施数	H27点検実施数	H28点検実施数	H29点検実施数	H30点検計画数
橋梁	10,770	644	1,710	2,137	3,574	2,685
トンネル	175	10	12	12	41	100
道路附属物等	317	48	54	54	88	73

＜最優先で点検すべき橋梁の平成30年度の点検予定＞ 全道路管理者の合計

道路施設	管理施設数	H26点検実施数	H27点検実施数	H28点検実施数	H29点検実施数	H30点検計画数
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	160	22	37	29	33	39
跨線橋	117	28	13	9	33	34
緊急輸送道路を構成する橋梁	1,745	162	252	301	515	509

※跨線橋は、歩道橋(跨線橋)を含む

道路メンテナンス研修・広報計画

研修について

①道路構造物管理実務者研修（九州技術事務所）

- ・九州地方整備局では、九州地方整備局職員及び地方公共団体等の職員を対象に「道路構造物管理実務者研修」を実施しています。
- ・現時点での応募状況は以下のとおりです。

H30.6.30現在

	橋梁初級Ⅰ（Ⅰ期） （募集終了）	橋梁初級Ⅰ（Ⅱ期） （定員40名）	橋梁初級Ⅱ （募集終了）	トンネル初級 （募集終了）	機関別 合計
	8月6日～8月10日(5日間)	10月1日～10月5日(5日間)	8月27日～8月29日(3日間)	10月9日～10月12日(4日間)	
整備局	6	3	12	11	32
福岡県	4	0	1	1	6
佐賀県	8	2	4	0	14
長崎県	0	0	4	1	5
熊本県	1	2	0	0	3
大分県	2	2	3	2	9
宮崎県	5	4	4	3	16
鹿児島県	5	3	2	4	14
その他(公社等)	2	2	4	1	9
合 計	33	18	34	23	108

《参考》 研修の目的

橋梁初級Ⅰ研修	道路橋、土工構造物等の定期点検に関して、最低限必要な知識と技能を習得することを目標とする。（職員自らに定期点検を行わせる場合の第一ステップ）
橋梁初級Ⅱ研修	道路橋に関する点検の知識、並びに補修・補強の工法選定の判断に必要な基礎的知識を習得することを目標とする。
トンネル初級研修	トンネルの定期点検に関する最低限必要な知識と技能、及び道路トンネルの補修・補強の基礎的知識を習得することを目標とする。



橋梁初級Ⅰ研修の状況

平成30年度 鹿児島県道路メンテナンス会議研修・広報活動計画表

計 画				
	分類	主な対象者	予定時期	具体内容
5月	研修	自治体	5月18日	橋梁点検車を用いた講習会（鹿児島・南薩地域）
7月	研修	自治体	7月26日	橋梁点検車を用いた講習会（北薩地域）
8月	イベント	市民	8月5日	親子橋梁点検体験
	パネル展	市民	8月中旬～下旬	道路メンテパネル展（管内一体型道の駅）
10月	研修		10月下旬	道路メンテ研修（平成30年度鹿児島県土木部技術職員維持管理研修（橋梁初級））
	研修	自治体	10月下旬	現地研修
11月	研修	直轄	11月下旬	直轄点検・診断（国道220号 Me 大隅）
	研修	直轄	11月下旬	直轄点検・診断（国道220号 Co 大隅）
12月	記者発表	マスコミ	12月中旬	橋梁補修現地説明会（国道3号 Me 鹿国）
	イベント	その他	12月中旬	松ヶ崎小学校の児童へ横断歩道橋点検隊の任命式
1月	研修	自治体	1月下旬	橋梁補修設計研修（鹿国、鹿児島県、鹿児島県建設技術センター）
2月	研修	直轄	2月下旬	直轄点検・診断（国道3号 Co 鹿国）
	研修	直轄	2月下旬	直轄点検・診断（国道3号 Me 鹿国）

現場研修



松ヶ崎橋

平成29年度は、国道220号松ヶ崎橋にて実施。

現場では、実際に点検して頂き、その損傷が問題あるのかどうかを考えていただき、診断を行って頂きました。

当日は、6自治体、11名の参加があり点検から診断までの流れを現地で体験できる現場研修を行いました。

平成30年度においても現場研修の計画を考えており、開催の際には案内しますので積極的な参加をお願いします。



座学の実施状況



現地での損傷図作成状況



現地での点検実施状況



診断結果の説明状況

橋梁点検車を用いた講習会

5月18日(金)国道225号轟橋で県内自治体の技術職員ら20名を対象に、橋梁点検車を用いた点検講習会を開催。

メンテナンスを効果的に実施するための点検手法やポイントを紹介。



橋梁点検車で点検講習
手法や構造学が
メンテナンス

県道メンテナンス協会が主催する橋梁点検車（RC8登頂T折機）を用いた点検講習会が18日、南九州市の轟橋で3、4名参加で行われた。県内自治体の技術職員ら20人が参加。点検車を用いて橋下部の点検を行い、メンテナンスを効果的に実施するための点検手法やポイントなどを理解を深めた。

また、参加者らはシミュレーションで打音試験やコンクリート等の確認も行った。



か、ポールカメラなどの最新機器の活用も進んでいる。同社の野野村吉樹副社長は「管理が難しくなった維持管理を進めたい」と話した。

九州地方橋梁研究会九州支部は、今年初めて参加した。同支部は、熊本県橋梁研究会と連携して、現場に出る。実際に目視で確認するなどの大切さを学びました。また、橋下部の近接目視点検を行う参加者＝南九州市の轟橋

広報について

牛根横断歩道橋点検隊



国土交通省大隅河川国道事務所が管理する牛根横断歩道橋は、松ヶ崎小学校の児童の皆さんが登下校や校舎向かい側にある運動場へ行くために利用されています。また、日頃から清掃して頂いたり、過去には補修材の劣化についても報告してもらったりしました。このように以前から横断歩道橋を見守って頂いていたので、平成28年11月に点検隊として任命することになりました。

平成30年度は、新たに2名参加予定のため、11名で実施していきます。今後も小学校と事務所が連携し管理を行っていきます。

点検チェックシート

点検チェックシート

点検隊からの報告をわかりやすくするため、事前に点検チェックシートを配布し、報告される場所を特定できるようにしている。



点検・清掃活動



美化活動(花の苗植え)

夏休み！！

親子橋梁点検体験を開催します！

～『みて』『たいて』『きいて』橋の健康診断を体験しよう！～

鹿児島県内の国・NEXCO西日本・県・市町村の道路管理者は、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害防止を図り、維持管理・更新等を効果的・効率的に行うため、橋梁等の道路施設の点検を実施しています。

この「点検」の必要性和重要性について学んでいただくため、小・中学生と保護者を対象に橋梁点検体験を開催します。

- <日 時> 平成30年8月5日(日) 10時00分～(2時間程度)
- <集合場所> 鹿児島県立石橋記念公園
石橋記念館前(鹿児島市浜町1-3)
- <対 象> 鹿児島市近郊在住の小・中学生とその保護者

参加を希望される方は、下記あて必要事項を記入のうえ、E-Mailでお申し込み下さい。

【募集要項】

- ①参加者氏名(お子様及び保護者)
- ②学校名及び学年
- ③連絡先(電話番号)

申し込みE-Mail : kakoku@qsr.mlit.go.jp

応募締め切り 平成30年7月27日(金)

<注意事項>

- ・参加費は無料です。
- ・お子様だけの参加は受け付けできません。
- ・現地集合、解散となります。(駐車場は確保しております。)
- ・熱中症対策をお願いいたします。
- ・希望者が定員を超えた場合、お断りさせていただく場合がございますので予めご了承ください。

担当 : 管理第2課 林

【昨年度の実施状況】

【老化化対策についての学習】



【リフト車での打音点検体験】



【検査路での床板点検体験】



【橋台の鉄筋探査体験】



平成30年度 親子橋梁点検体験

①橋梁点検車試乗体験
乗り心地はどんな感じ？



②検査路歩行体験体験
スリル満点！
川のうえを歩いてみよう！



③石橋組立体験
じょうぶな石橋を
つくってみよう！



④コンクリート点検体験
目で見てさわってじっくり
観察してみよう！



親子橋梁点検体験（鹿児島県国道事務所）

【 昨年度の実施状況 】

実施日：平成29年8月27日（日）10:00～12:00
 実施場所：国道10号 祇園之洲大橋（鹿児島県鹿児島市）
 実施主体：鹿児島県道路メンテナンス会議
 （鹿児島県国道事務所・鹿児島県土木部道路維持課）
 参加者：16名（児童・生徒・親子）
 実施内容：パワーポイントにて老朽化対策の状況を学習し、
 リフト車に乗って橋梁点検等を体験



祇園之洲大橋

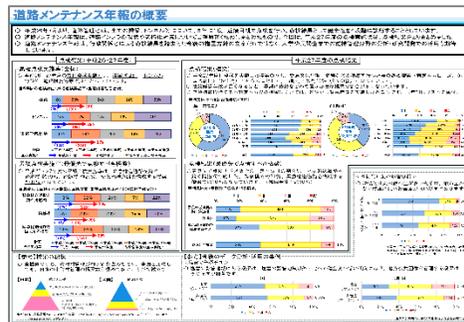
《 橋梁諸元 》

渡河河川：稲荷川
 橋梁形式：2径間連続鋼製箱桁橋
 橋 長：76m
 完成年次：H6年（23年経過）

【参加者への配布資料（一例）】



老朽化対策関係パンフ



メンテナンス年報（概要版）

【老朽化対策についての学習】



【リフト車での打音点検体験】



【検査路での床板点検体験】



【橋台の鉄筋探査体験】



【ドローン操作体験】



【参加者集合写真】

